

4年1組 学級活動Storyシート

4年生学年テーマ	4年生学年目標 「for～ 自分のため みんなのため 次へ向かって～」
4年1組学級目標	4の1 最高伝説たけのこ flower ①スマイルハッピー ②価値ある言葉 ③助け合う ④誰とでも ⑤35人家族 ⑥自分を大切に

1月 学級活動(2)
「自分の食事の課題を見付け、その解決方法を考え実行しよう」(本活動)

①問題の発見・確認 ・自分の食生活の調査や、栄養教諭の話などから、自分の食生活についての課題を見付ける(事前、本時)	②解決方法等の話し合い ③解決方法の決定 ・課題を解決するための方法を、友達との話し合いや栄養教諭のアドバイスを参考に考え意思決定する(本時)
⑤振り返り ・実践の振り返りをする(事後)	④決めたことの実践 ・自分の食生活について意思決定した解決方法を、定期的に振り返り改善する(事後)

1月15日 体育(1時間)
「よりよく成長するための生活を考えよう」

○振り返り
・健康な生活には、「運動」「睡眠・休養」「食事」がとても大切である
・バランスのよい食事については、栄養素の大切さや、どんなよさがあるのか、とらないとどうなるのかなど知らないことが多いので、調べてみたい。

10、11月 体育(4時間)
「自分の体の成長を振り返り、これからの成長について学んだり考えたりしよう」

○振り返り
・自分の体がこれからどのように成長していくのか見通しを持つことができた
・思春期の体の変化は不安もあるが、親などと相談しながら準備にしていきたい
・大きく体が変わっていくこれからの時期なので、自分の体をより大切にしたい

7月 学級活動(2)(1時間)
「自分の飲み物のとり方の課題を見付け、その解決方法を考え実行しよう」

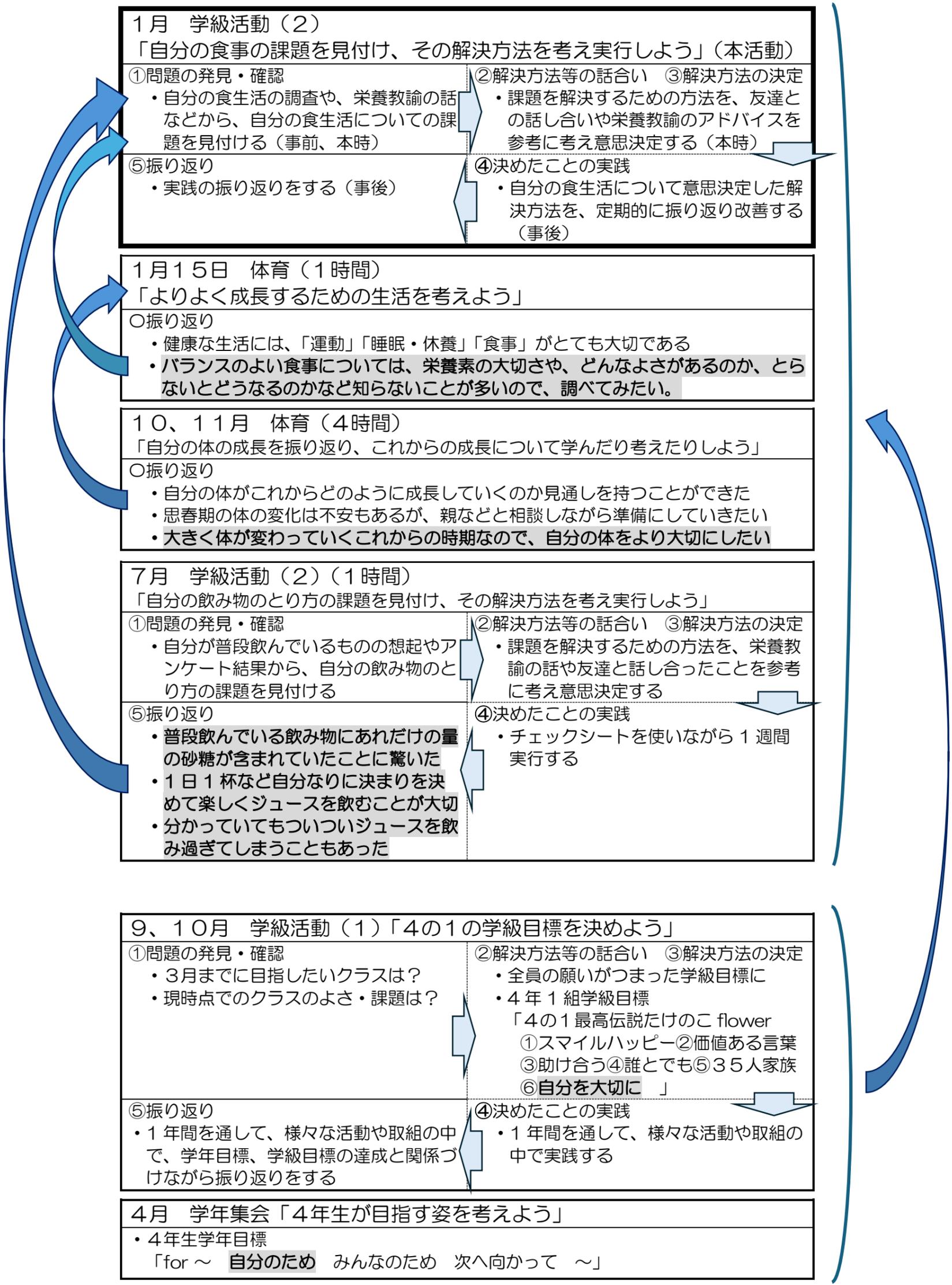
①問題の発見・確認 ・自分が普段飲んでいるものの想起やアンケート結果から、自分の飲み物のとり方の課題を見付ける	②解決方法等の話し合い ③解決方法の決定 ・課題を解決するための方法を、栄養教諭の話や友達と話し合ったことを参考に考え意思決定する
⑤振り返り ・普段飲んでいる飲み物にそれだけの量の砂糖が含まれていたことに驚いた ・1日1杯など自分なりに決まりを決めて楽しくジュースを飲むことが大切 ・分かっているもついついジュースを飲み過ぎてしまうこともあった	④決めたことの実践 ・チェックシートを使いながら1週間実行する

9、10月 学級活動(1)「4の1の学級目標を決めよう」

①問題の発見・確認 ・3月までに目指したいクラスは? ・現時点でのクラスのよさ・課題は?	②解決方法等の話し合い ③解決方法の決定 ・全員の願いが詰まった学級目標に ・4年1組学級目標 「4の1 最高伝説たけのこ flower ①スマイルハッピー②価値ある言葉 ③助け合う④誰とでも⑤35人家族 ⑥自分を大切に」
⑤振り返り ・1年間を通して、様々な活動や取組の中で、学年目標、学級目標の達成と関係づけながら振り返りをする	④決めたことの実践 ・1年間を通して、様々な活動や取組の中で実践する

4月 学年集会「4年生が目指す姿を考えよう」

・4年生学年目標
「for～ 自分のため みんなのため 次へ向かって～」



<p>【児童の実態】 令和5年度 全国学力・学習状況調査(6年生) ・朝食を毎日食べている 83.7% (全国 83.7%) ・朝食をまったく食べていない 0% (全国 1.5%)</p> <p>残食率について ・給食のおかずの平均残食率 4.6%(R6.2月時点) (R4 :3.9%)</p> <p>【保護者・家庭の実態】 ・食に関する興味、関心が高い</p>	<h2 style="margin: 0;">学校教育目標</h2> <p style="margin: 0;">グローバルリーダー (Think globally, act locally) の育成</p> <p style="margin: 0;">～未来へ向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに わり、自分を磨き高め合う子どもの育成～</p>	<p>【第4次食育推進基本計画】 R2 R7 ・朝食を欠食する子供の割合 4.6%→0%</p> <p>【第4期大分県食育推進計画】 ・朝食を毎日食べる児童の割合(小学校5年生)現状値(R2年度)90.0%→目標値(R7年度)92.4%</p> <p>【第3期大分市食育推進計画】 ・朝食を毎日食べる小学生の割合の増加 現状値(R3年度)86.1%→目標値(R6年度)100%</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">食育の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇食事の重要性 ◇心身の健康 ◇食品を選択する能力 ◇感謝の心 ◇社会性 ◇食文化 	<p style="text-align: center;">食に関する指導の目標</p> <p>(知識・技能) 食事を楽しむことは、心を豊かにし、持てる力を十分に発揮するために重要であることを理解し、望ましい食事のとり方とともにマナーや食べ方など健全な食生活に必要な技能を身につける。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等) 栄養や食事のとり方について自分の生活との関わりを見つめ、健全な生活を実現するために何が必要かを考え、正しい知識・情報に基づき適切に意志決定して行動できる。</p> <p>(学びに向かう力・人間性等) 健康な食生活について主体的に考え、実現しようとし、食や食文化、食糧の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じたコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
---	---

幼稚園 保育所	各学年の食に関する指導の目標			中学校
	1、2年	3、4年	5、6年	
連携を深め、食に関する指導内容、子どもの実態について共通理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいはし使いで、よい姿勢で食べることができる。 ・好き嫌いせずに食べることの大切さを考えることができる。 ・協力して食事の準備や後片付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくかんで食事することが心身の健康に大切なことがわかる。 ・健康に過ごすことを意識して好き嫌いせずにしっかり食べようとするができる。 ・食事のマナーやあいさつで食に関する感謝の気持ちを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の保持管理には1日3食の栄養バランスのよい食事摂取が大切であることが理解できる。 ・食品をバランスよく組み合わせる簡単な献立を立てることができる。 ・自分の食生活を見つめ直し、よりよい食生活を実現してみようとする。 	小中連携会議等を活用して、生徒の生活習慣、健康状態、食育の内容等を把握し、連携に努める。

食育推進組織(健康安全指導部)
 委員：担当教諭(健康安全指導部長をはじめ、各学年1名) 養護教諭、栄養教諭
 「給食指導」については、健康部と連携し、足並みをそろえた指導に取り組んでいく。
 「教科等における食に関する指導」については、指導教諭、研究主任、健康安全指導部の健康担当と連携を図り、取り組んでいく。

食に関する指導
 教科等における食に関する指導：関連する教科において食に関する指導の視点を位置付けて指導
 社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等
 給食の時間における食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認、栄養黒板作成、給食クイズの作成および放送(給食委員会児童)
 給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
 個別相談指導：肥満・やせ傾向、偏食、スポーツ、食物アレルギー疾患(アレルギー対応委員会:校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭等)

地場産物の活用
 掲示物や動画を活用した給食時間の指導の充実

家庭・地域との連携
 給食ひとくちメモの掲載(月1回HP)、学校給食試食会、学校保健委員会

食育推進の評価
 活動指標：栄養教諭が計画どおりに授業参画できたか。 成果指標：朝食を毎日食べている児童の割合 83.7%→85.0%
 おかずの平均残食率の割合 4.6%→3.9%